

2020年度オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) 総会
議事次第

日 程 : 2021年3月17日(水) 13:30~15:15 (受付開始:13:00)

会 場 : オンライン会議

開会挨拶 オープンアクセスリポジトリ推進協会会長
立教大学図書館長 中 村 百合子

【議案】

- 第1号 2021年度会長選出について (協議)
- 第2号 2021年度監事選出について (協議)
- 第3号 2021年度運営委員会委員について (協議)
- 第4号 改正会費規程の2021年度特例措置について (協議)
- 第5号 2021年度活動計画について (協議)
- 第6号 2021年度予算について (協議)

【報告】

- 1) 2020年度活動について (報告)
- 2) 2020年度決算について (経過報告)
- 3) 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) への移行について (報告)

閉会挨拶

閉会

議案資料：

資料 1	2021 年度 JPCOAR 会長（案）
資料 2	2021 年度 JPCOAR 監事（案）
資料 3	2021 年度 JPCOAR 運営委員会委員（案）
資料 4	改正会費規程の 2021 年度特例措置（案）
資料 5	2021 年度活動計画（案）
資料 6	2021 年度 JPCOAR 予算（案）

報告資料：

報告 1	2020 年度 JPCOAR 活動報告
報告 2	2020 年度 JPCOAR 決算（経過報告）
報告 3	次期 JAIRO Cloud（WEKO3）への移行について

参考資料 1	2020 年度 JPCOAR 総会 議案・報告説明【会員限定】
参考資料 2-1	オープンアクセスリポジトリ推進協会会則
参考資料 2-2	オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程
参考資料 2-3	オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程（2021 年 4 月 1 日施行）
参考資料 2-4	オープンアクセスリポジトリ推進協会会則作業部会設置規程
参考資料 2-5	オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度
参考資料 2-6	通常総会の電子的な通信並びに記録手段を用いた開催に関する細則
参考資料 2-7	JAIRO Cloud を共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則

オープンアクセスリポジトリ推進協会会長（案）

運営委員会から、以下のとおり推薦します。

立教大学図書館

（任期：2021年4月1日～2022年3月31日）

以上

オープンアクセスリポジトリ推進協会監事（案）

運営委員会から、以下のとおり推薦します。

- ・ 電気通信大学附属図書館
- ・ （未 定）

（任期：2021年7月1日～2022年6月30日）

※未定の監事1については、2021年度の文書による臨時総会でお諮りする予定としております。

以上

2021年3月2日現在

2021年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)運営委員会委員(案)

	氏名	所属機関・役職	備考
1	結城 憲司	北海道大学附属図書館研究支援課長	継続
2	鈴木 秀樹	筑波大学学術情報部長	継続
3	<u>江川 和子</u>	<u>東京大学附属図書館事務部長</u>	<u>退任</u>
	<u>(未定)</u>	<u>(未定)</u>	新規
4	高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長	継続
5	杉田 茂樹	京都大学附属図書館学術支援課長	継続
6	西岡 千文	京都大学附属図書館研究開発室助教	継続
7	尾崎 文代	岡山大学附属図書館情報管理課長	継続
8	<u>山本 和雄</u>	<u>鹿児島大学学術情報部長</u>	<u>退任</u>
	<u>(未定)</u>	<u>(未定)</u>	新規
9	<u>板倉 由美子</u>	<u>富山県立大学事務局教務課長</u>	<u>退任</u>
	<u>(未定)</u>	<u>(未定)</u>	新規
10	折戸 晶子	明治大学図書館総務事務長	継続
11	原 修	立教大学図書館副館長	継続
12	鈴木 恵津子	東京家政大学図書館	継続
13	川崎 安子	武庫川女子大学附属図書館図書課長	継続
14	林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター 特任助教	継続
15	小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長	継続

(任期：2021年4月1日～2022年3月31日)

※退任の委員の後任について「未定」としている委員は、2021 年度人事異動の状況を鑑みた上で、2021 年 4 月初旬までに文書による臨時総会で承認を得ることにより、後任委員を決定することとする。継続予定の委員が人事異動により委員を継続することが困難な場合も同様とする。

改正会費規程の 2021 年度特例措置（案）

2021 年 月 日
オープンアクセスリポジトリ推進協会総会決定

2021 年 4 月 1 日付けで改正オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程（以下「改正会費規程」という。）を施行するが、昨今の状況に鑑み、2021 年度に限り、下記のとおり、特例措置を講ずる。なお、改正会費規程自体は予定通り施行し、2022 年度以降は改正会費規程のとおり適用とする。

- (1) 2021 年度の基本会費（年額）の引き上げ幅の 5 割減額
- (2) 2021 年度の JAIRO Cloud 容量拡大に対応する特別料金（年額）を半額に設定

記

1. 基本会費（年額）の引き上げ幅の 5 割減額

- (1) 2019 年度総会（2020 年 3 月 5 日～16 日）において、専任の事務局員派遣を確保するための出向元への事務協力費に加え、JPCOAR としての事務補佐員の人件費を確保するため、基本会費（年額）を一律 30% 引上げとする改正が承認され、2021 年 4 月 1 日付施行予定である。
- (2) しかし、新型コロナウイルス感染拡大への対応により、JPCOAR 全体が活動形態の急激な変更を迫られていること、また、感染流行による図書館等会員機関への影響を考慮し、2021 年度限りの特例措置として、一律 15% 引上げ（引き上げ幅の 5 割減額）とする。
- (3) これによる 2021 年度基本会費（年額）は別紙の表 1 のとおりとなる。

2. JAIRO Cloud 容量拡大に対応する特別料金（年額）を半額に設定

- (1) 2018 年度総会（2019 年 3 月 13 日）において、JAIRO Cloud 容量拡大に対応する特別料金の導入に伴う改正が承認された。翌 2019 年度、次期 JAIRO Cloud 移行スケジュール変更に伴い、臨時総会（メール審議）「オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程の改正」が開催され、2018 年度総会で改正された会費規程の施行を 2021 年 4 月 1 日付とすることが承認された（2019 年 12 月 5 日）。
- (2) 特別料金の導入は、基本 JAIRO Cloud サービスに加えて、100GB 超の登録容量の特別利用申請を認めるものであり、特別料金の規定内容は以下のとおりである。
 - ・ 特別利用申請に基づく料金請求は年額であり、基本 JAIRO Cloud サービスと異なり、年度途中の利用開始時期による減額は行わない。
 - ・ なお、同一年度内での特別料金区分の変更により、新しい区分の特別料金と請求済みの特別料金との差額が生じる場合は、別途差額を請求する。

- (3) 一方、次期 JAIRO Cloud への移行は「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュール再変更について (通知) (2020 年 12 月 7 日付国情研コ第 112 号)」(JPCOAR 運営委員会委員長名での会員機関への通知は 2020 年 12 月 8 日付) のとおり、先行移行機関以外の利用機関については 2021 年度に順次実施する計画となった。
- (4) 特別利用は「文献を中心としたリポジトリのほかに、研究データリポジトリやデジタルアーカイブとして JC を利用する場合等を想定し」設定されたもので、必ずしも次期 JAIRO Cloud を前提とはしていないが、次期 JAIRO Cloud 環境において、より十分な効果が期待されるものである。移行計画の遅延により、多数の機関において、次期 JAIRO Cloud の利用開始が年度途中となることから、2021 年度限りの特例措置として、改正会費規程第 3 条三号に定める JAIRO Cloud 特別料金を申請した場合、会費規程に規定する JAIRO Cloud 特別料金 (年額) の半額を請求金額とする。
- (5) これによる 2021 年度の JAIRO Cloud 特別料金 (年額) は別紙の表 3 のとおりとなる。

1. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程第3条第1号の基本会費は、2021年度特例措置として次の表1のとおりとする。

表1 基本会費

区分	構成員数	会費額（年額）
A	0 ～ 600 人	<u>23,000</u> 円
B	601 ～ 1,100 人	<u>46,000</u> 円
C	1,101 人～	<u>69,000</u> 円

2. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程第3条第3号のJAIRO Cloud特別料金は、登録容量に応じ、2021年度特例措置として次の表3のとおりとする。

表3 JAIRO Cloud 特別料金

区分	登録容量	JAIRO Cloud 特別料金 (税抜き・年額)
S1	100GB 超 200GB 以下	<u>10,000</u> 円
S2	200GB 超 400GB 以下	<u>20,000</u> 円
S3	400GB 超 1,000GB(1TB)以下	<u>50,000</u> 円
S4～	1TB 超 2TB 以下	<u>100,000</u> 円
	登録容量が 1TB を超える場合は、1TB を 1 区分として、1TB あたりの料金を <u>50,000</u> 円として算出する。	

- 1) 本表における「区分」とは、当該の会員が利用する1つのJAIRO Cloud環境当たりの登録容量によるものとする。

オープンアクセスリポジトリ推進協会
会員機関 各位

2020年12月8日
オープンアクセスリポジトリ推進協会
運営委員会委員長 江川 和子

「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュール再変更について
(通知) (2020年12月7日付 国情研コ第112号)」について

平素よりオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

国立情報学研究所より、別紙のとおり、「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュール変更について (通知)」(2020年8月6日付)にて提示していた移行スケジュールについて再度の変更(延期)を行う旨の通知がありましたのでお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先:

JPCOAR 事務局
(国立情報学研究所 学術基盤推進部図書館連携・協力室内)
E-mail: jpcoar@nii.ac.jp

JAIRO Cloud 移行に関する問い合わせ先

JAIRO Cloud 事務局
(国立情報学研究所 学術基盤推進部学術コンテンツ課内)
E-mail: jc-office@nii.ac.jp

国情研コ第 112 号
2020 年 12 月 7 日

オープンアクセスリポジトリ推進協会
運営委員会委員長
東京大学附属図書館事務部長 江川 和子 殿

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所学術基盤推進部長
合田 憲人 [所印省略]

次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュール再変更について (通知)

平素より、国立情報学研究所の活動、特に JAIRO Cloud の運用については、ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

貴協会並びに JAIRO Cloud 利用機関の皆様にご協力いただき「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 第二次βテスト (10月27日(火)~11月13日(金))」を実施致しましたが、その際、想定以上の不具合が発生したことにより、その解消に時間を要するため、2020年8月6日付け文書「次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュール変更について (通知)」でお示ししておりました移行スケジュールについて、再度の変更(延期)を行わざるを得なくなりました。この変更により、既に移行のご準備をいただいていた参加機関の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけすることになりましたこと、深くお詫び申し上げます。

再変更の内容につきまして、以下のとおりお知らせ致します。

- ・2020年12月に予定していました JAIRO Cloud (WEKO3) への移行を延期します。
- ・当面の間、JAIRO Cloud (WEKO2) の環境提供を継続します。通常通り JAIRO Cloud (WEKO2) を更新いただけます。
- ・2020年度は一部の JAIRO Cloud 利用機関を先行移行機関として JAIRO Cloud(WEKO3) への移行を検討しております。
- ・先行移行機関以外の JAIRO Cloud 利用機関については 2021年度に順次移行する計画です。
- ・先行移行機関及び移行スケジュールにつきましては、貴協会ともご相談の上、改めて JAIRO Cloud 利用機関の皆様へご案内いたします。

度重なる次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行スケジュールの変更により、JPCOAR 会員皆様にご迷惑をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

本件に関する問い合わせ先
JAIRO Cloud 事務局
(国立情報学研究所 学術基盤推進部学術コンテンツ課内)
E-mail: jc-office@nii.ac.jp

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

2021年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）活動計画
（案）

2021年3月 日
総 会 承 認

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
担当：研究データ作業部会
 - (1) 次期 JAIRO Cloud において研究データ公開を促進する活動を検討・実施する。
(1.1、1.2) 注
 - ★ (2) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。(1.2)
 - ★ (3) 大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM 部会）と連携して、RDM 事例形成プロジェクトを実施する。(1.2、1.3)
 - ★ (4) これまで開発した研究データ管理に関する教材の利活用の拡大を図るとともに、次なる教材充実に向けて情報収集を進める。(1.3)

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
担当：コンテンツ流通促進作業部会
 - ★ (1) ワークフローを考慮したオープンアクセスインフラの機能検証を行う。
(2.1)(2.2)(2.6)
 - (2) 著作権ポリシーのデータメンテナンスを継続し、データ活用の検討を行う。
(2.2)(2.1)(2.6)
 - (3) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施するとともに、デジタルアーカイブ対応を検討する。(2.3)(2.4)(2.5)
 - (4) 識別子・ライセンスの調査結果に基づき、普及活動を実施する。(2.1)(2.4)(2.5)
 - ★ (5) 次期 JAIRO Cloud への移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。(2.6)

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
担当：コミュニティ強化・支援作業部会
 - ★ (1) 協会ウェブサイト（日/英）、Facebook、twitter、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。(3.2、3.4)
 - ★ (2) メーリングリスト等を通じて次期 JAIRO Cloud 移行支援を始めとする JAIRO Cloud コミュニティのサポートを行う。(3.1、3.3)
 - ★ (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図

書館総合展のフォーラム開催及びオンラインを含む地域でのイベントプログラムを実施する。メーリングリスト等コミュニティツールを活用する。(3.1、3.2、3.4、3.5、4.2)

(4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベント（開催支援を含む）で取り上げて情報共有を図る。(3.5)

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。

担当：人材育成作業部会

(1) 研修の編成、内容について継続的に検討・評価を行う。(4.1)

(2) 基礎研修：開催形態（リアルタイム講義とするか等）について再検討の上、オープンアクセス（機関リポジトリ運営を含む）に関する基礎的なオンライン研修を実施する。(4.2)

★ (3) 専門研修：関連団体との協働により、学術情報流通に関する各種動向理解のためのオンラインセミナーを実施する。(4.2)

(4) 専門研修：(状況に鑑み、必要があれば) 次期 JAIRO Cloud の機能・設定・操作等に関するオンラインの情報共有機会を作る。

5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。

担当：運営委員会

★ (1) 作業部会間、運営委員会と各作業部会との連絡を密にし、協会の情報収集力、企画力の強化をはかる。

★ (2) 事務局員の確保を図り、継続的な事務局体制を整備する。(5.1)

(3) 作業部会員の横断的な活動を組織化し、海外の動向調査等、若手、中堅職員のレベルアップを図り、人的活動基盤を強化する。(4.2、4.3)

(4) 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での認知度を向上させる。(3.2、5.2)

(5) COAR Annual Meeting 及び COAR Asia OA Meeting 等に参加し、JPCOAR のプレゼンスを高める。(4.3、5.2、5.4)

(6) 国大図協オープンアクセス委員会、これからの学術情報システム構築検討委員会、大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 及び学術情報流通推進委員会 (SPARC Japan) との連携体制を強化し、文部科学省、内閣府等の政策の動き及び COAR 等の動きへの適切な対応を行う。(5.3、5.4)

注：「JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」活動計画の項番を示す。以下同じ。

★：2021 年度活動計画の重点項目。

2021年度タスクフォースの設置について（案）

2021年 月 日

オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会

2021年度は、運営委員会の下に2つのタスクフォースを設置する。設置期間は、いずれも2022年3月31日までとする。

1. 次期中期戦略タスクフォース（仮称）
2. JAIRO Cloud 移行タスクフォース（仮称）

1. 次期中期戦略タスクフォース（仮称）

（1）趣旨

JPCOARは「オープンアクセスリポジトリ戦略2019～2021年度」（2019年3月13日、2018年度総会決定）の下に活動を行っているが、戦略の年限の終了に伴い、本タスクフォース（以下「TF」という。）において次期中期戦略の素案を策定する。

（2）付託事項

- ① 次期中期戦略の在り方
- ② 戦略内容の検討
- ③ 戦略の背景となる事項の調査等

（3）その他

- ① 本TFは、次期中期戦略素案を運営委員会に提出する
- ② 運営委員会は素案を審議し、会員への意見照会等を経た上で総会に諮る

2. JAIRO Cloud 移行タスクフォース（仮称）

（1）趣旨

次期 JAIRO Cloud への移行の大半が 2021 年度に実施されることから、移行サポートを重点的に担当する本 TF を設置する。2020 年度には、コンテンツ流通促進作業部会の JAIRO Cloud チームとコミュニティ強化・支援作業部会が中心となって、参加機関からの質問・要望に対応したが、βテスト時には一部の作業部会員に重い負担がかかったため、体制を強化する狙いである。

（2）付託事項：

- ① 次期 JC への移行時および移行後の参加機関サポート
- ② JPCOAR メーリングリスト上での情報共有・情報交換の支援
- ③ 次期 JC の移行後の操作説明などの企画等

以上

2021年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）予算（案）

<収入の部>

科目	2021年度 予算額(A)	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (A)-(B)	2020年度 当初予算額	備考
1. 会費	17,710,000	15,400,000	2,310,000	14,600,000	2020年度会員機関数: 662(1月現在) 区分A:586 x 2.3万円 = 13,478千円 区分B:44 x 4.6万円 = 2,024千円 区分C:32 x 6.9万円 = 2,208千円
計	17,710,000	15,400,000	2,310,000	14,600,000	

<支出の部>

科目	2021年度 予算額(A)	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (A)-(B)	2020年度 当初予算額	備考
1. 事務局経費	13,830,000	13,386,000	444,000	11,500,000	
(1) 事務協力費	9,500,000	9,450,000	50,000	9,200,000	事務協力費及び事務補佐員人件費※1
(2) 事務局運営費	4,330,000	3,936,000	394,000	2,300,000	窓口委託、会員コミュニケーションツール、オンラインイベント運営支援、その他
2. 運営委員会等経費	210,000	0	210,000	250,000	
活動費	200,000	0	200,000	200,000	運営委員会(3回)・企画調整会議・TFの旅費等
監事監査費	10,000	0	10,000	50,000	近距離旅費
3. 総会経費	610,000	494,000	116,000	670,000	
総会会場費	0	0	0	220,000	オンライン総会を想定
総会運営費	600,000	484,000	116,000	300,000	オンライン総会運営支援
総会旅費	10,000	10,000	0	150,000	近距離旅費
4. 図書館総合展出展	400,000	399,000	1,000	100,000	オンラインイベント運営支援
5. 部会活動費	1,550,000	1,121,000	429,000	1,070,000	
研究データ作業部会	150,000	94,000	56,000	150,000	研究大会参加、ワークショップ開催、その他
コンテンツ流通促進作業部会	500,000	1,027,000	▲ 527,000	420,000	SCPJデータメンテナンス、その他
コミュニティ強化・支援作業部会	200,000	0	200,000	250,000	地域イベント開催支援、その他
人材育成作業部会	700,000	0	700,000	250,000	オンライン研修運営支援、その他
6. 国際連携活動費	1,110,000	0	1,110,000	1,010,000	
海外派遣旅費	0	0	0	0	
COAR会費	1,110,000	0	1,110,000	1,010,000	2021年分COAR会費
計	17,710,000	15,400,000	2,310,000	14,600,000	

※支出のうち不足額については、国立情報学研究所予算からの支援により支出する。

※ 1：「事務補佐員」の該当者は1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、事務協力費の内訳は示さない。

JAIRO Cloud利用料金

<収入の部>

科目	2021年度 予算額(A)	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (A)-(B)	2020年度 当初予算額	備考
JAIRO Cloud利用料金	69,652,000	67,749,000	1,903,000	61,908,000	利用機関数：608 (2021年1月現在)
計	69,652,000	67,749,000	1,903,000	61,908,000	

<支出の部>

科目	2021年度 予算額(A)	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (A)-(B)	2020年度 当初予算額	備考
JAIRO Cloud運用費	69,652,000	67,749,000	1,903,000	61,908,000	
計	69,652,000	67,749,000	1,903,000	61,908,000	

2021年3月2日

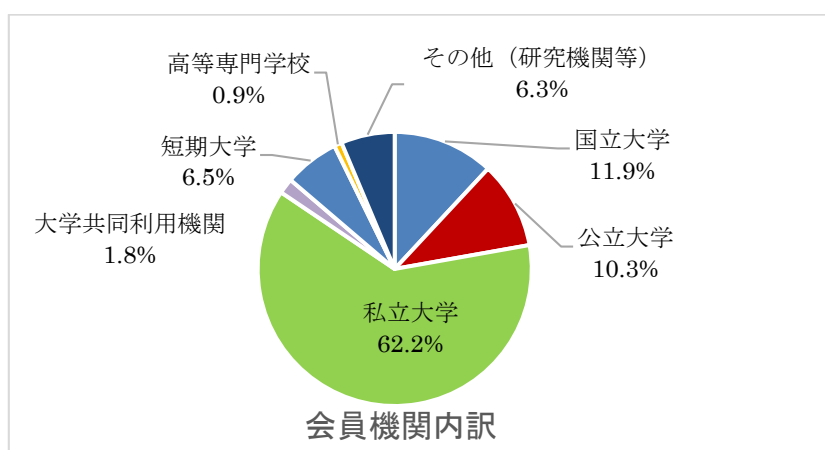
2020年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）活動報告

1. 組織・体制

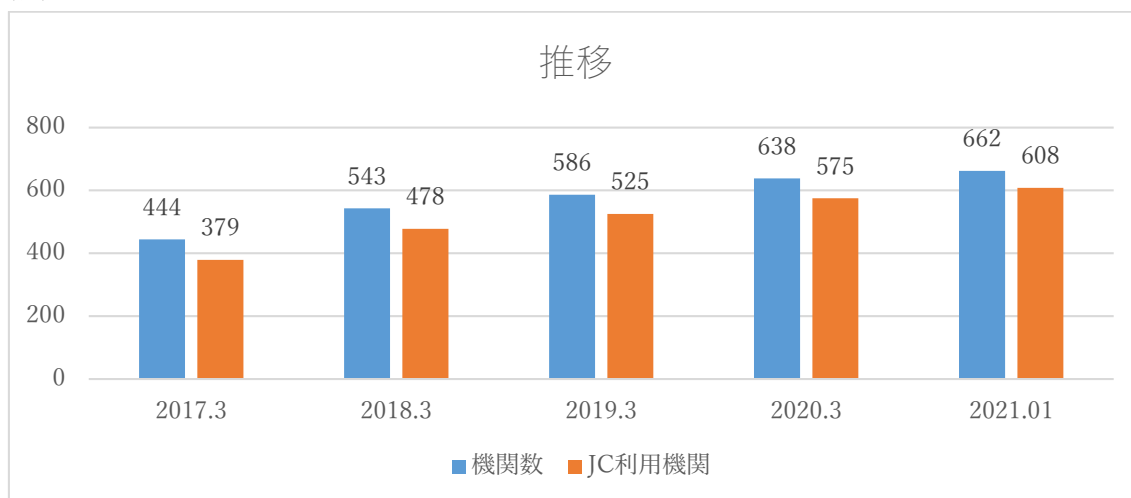
(1) 会員機関状況

種 別	機 関 数	JC 利用機関
国立大学	79	56
公立大学	68	65
私立大学	412	392
大学共同利用機関	12	11
短期大学	43	42
高等専門学校	6	6
その他（研究機関等）	42	36
合計	662	608

(2021年1月8日現在)



2. 推移



(2) 運営体制

会長	立教大学（2019年4月1日～）
監事	電気通信大学，奈良県立大学（2020年7月1日～）
運営委員	15名（会員機関選出）
作業部会員	63名（2020年度会員機関選出）
事務局	3名（会員機関からの出向1名、JPCOAR有期雇用1名、NIIから支援1名）

3. 会議等

(1) 総会

通常総会

- ・2021年3月17日に通常総会（オンライン会議・投票）を開催予定。

臨時総会

- ・2020年度JPCOAR監事及び2019年度運営委員会委員の承認（2020年4月14日、メールによる審議）
- ・2019年度決算の承認（2020年6月30日、メールによる審議。賛成多数、反対1会員）
- ・通常総会の電子的な通信並びに記録手段を用いた開催に関する細則の制定についての承認（2021年2月8日、メールによる審議。賛成多数、反対1会員）
- ・JAIRO Cloudを共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則の制定について（2021年2月8日、メールによる審議。賛成多数、反対2会員）

(2) 運営委員会 全3回開催

第11回（2020年6月22日）

- ・2020年度決算案及び監査結果について
- ・JPCOAR会長・監事・運営委員会・作業部会・事務局の体制について
- ・2020年度予算及び作業部会活動計画等について
- ・2020年度JPCOAR総会について

第12回（2020年9月3日）

- ・2020年度活動中間報告について
- ・次期JAIRO Cloud（WEKO3）移行について
- ・2020年度予算執行状況及び補正について

第13回（2021年1月29日）

- ・2020年度予算執行状況及び活動報告について
- ・次期JAIRO Cloud（WEKO3）移行について
- ・2020年度総会について

また、企画調整会議（5/28、7/30、8/28、10/20、12/23）を開催している。

(3) 作業部会のミーティング

- ・研究データ作業部会（2020年6月11日、10月26日、1月25日）
 - ・コンテンツ流通促進作業部会（2020年6月15日、12月24日、3月3日（予定））
 - ・コミュニティ強化・支援作業部会（2020年6月2日、7月3日、8月4日、9月11日、10月8日、11月18日、12月21日、1月21日（以降 月1回））
 - ・人材育成作業部会（2020年7月21日、7月29日、8月24日、1月～（予定））
- その他、作業部会下のプロジェクト及びチーム単位でのTV会議等を随時開催。

4. 活動

(1) JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度に基づく活動

2018 年度総会において決定された「JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」に基づき、作業部会は4つに再編され、各々担当する戦略とその活動計画に取り組んでおり、主な活動の概要は次のとおりである。

戦略1 オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取り組みを行う（研究データ作業部会）。

研究者向け RDM 教材「研究者のための研究データマネジメント」を公開（2020年10月30日）するとともに、図書館総合展において発表した。大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM 部会）と連携して、JPCOAR 参加機関、AXIES 参加機関を主たる対象とした、RDM 取り組み状況に関するアンケート調査を実施した。データベースレスキューについては、技術的課題の検討とマニュアルの作成を予定している。

戦略2 オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する（コンテンツ流通促進作業部会）。

次期 JAIRO Cloud（WEKO3）の移行に向けて、国立情報学研究所、コンテンツ流通促進作業部会及びコミュニティ強化・支援作業部会で協力し、βテストを実施し、併せてオンライン講習会も開催した。SCPJ（著作権ポリシーデータベース）のデータ更新、JPCOARスキーマの改訂等の検討に取り組んだ。アーカイビングポリシーのデータベース化に向けた準備も進めている。また、識別子・ライセンスの普及状況についての調査を実施し、コンテンツ流通の現状把握を行った。

戦略3 オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する（コミュニティ強化・支援作業部会）。

情報誌 CoCOAR 等での情報発信、次期 JAIRO Cloud（WEKO3）βテストの実施協力、図書館総合展フォーラム開催のほか、JPCOAR コミュニティでのコミュニケーション

ョンツールの導入等を実施した。

戦略4 オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う（人材育成作業部会）。

基礎研修（オープンアクセス新任担当者研修）6回計1,373名参加、専門研修（学術コミュニケーション技術セミナー）4回計1,279名参加を実施し、研修資料を公開した。

戦略5 協会の活動基盤を強化し、JPCOARのブランド力を高める（運営委員会）。

「COVID-19以降の社会に向けたオープンアクセスの加速について」を公表（2020年6月）した。また、引き続き会員機関の拡大を図るとともに、会員からの専任の事務局員派遣を受け、事務局体制の強化・安定に努めた。COAR Asia OA Meeting（ソウル・オンライン開催）で日本及びJPCOAR活動状況を報告するとともに、関連する国内の組織との連携を進めるため、学術情報流通推進委員会（SPARC Japan）へ委員を派遣した。

(2) 協会活動の概略

- 1) 「COVID-19 以降の社会に向けたオープンアクセスの加速について」公表（2020年6月8日）<http://id.nii.ac.jp/1458/00000216/>
- 2) 国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム 2020 への協力
日程：2020年6月10日
場所：国立情報学研究所
コンテンツトラック 2「次期 JAIRO Cloud（WEKO3）と国内外のリポジトリの最新動向」の講演者として5名の作業部会員が登壇
- 3) 次期 JAIRO Cloud（WEKO3） β テストの実施協力
日程：2020年6月25日～7月31日
：国立情報学研究所及び JPCOAR（コンテンツ流通促進作業部会とコミュニティ強化・支援作業部会）により、次期 JAIRO Cloud（WEKO3）への移行に向けた β テスト（参加579機関）実施協力
- 4) 次期 JAIRO Cloud β テストのためのオンライン講習会
ゆっくり進行版：2020年7月8日、7月22日 各回30名
通常版：2020年7月2日、7月16日 各回30名
- 5) オープンアクセス新任担当者研修（オンライン開催）
 - A. オープンアクセスの概要
（第1回：2020年10月9日、第2回：10月12日（計520名））
 - B. 機関リポジトリの管理（第1回：2020年12月4日、第2回：12月11日（計391名））
 - C. 機関リポジトリの著作権とケーススタディ（第1回：2020年12月8日、第2回：12月11日（計461名））

- 6) 学術コミュニケーション技術セミナー (JPCOAR Monday) (オンライン開催)
- A. オープンアクセス及び機関リポジトリ周辺技術解説
(2020年10月26日(月)(293名))
 - B. デジタル・アーカイブ周辺技術解説(2020年11月2日(月)(312名))
 - C. 電子ジャーナル・データベース周辺技術解説(2020年11月16日(月)(計360名))
 - D. 著者名・機関識別子、検索サービス周辺技術解説(2020年12月7日(月)(計314名))
- 7) 第22回図書館総合展フォーラム
テーマ:「いまこそオープン JPCOAR2020」開催
日程:2020年11月4日(水) 13:00~15:00(207名)
趣旨:COVID-19禍で研究・教育活動にオンライン環境が必須となり、社会がデジタルトランスフォーメーションに大きく舵を切る今、JPCOARとしてあらためて学術コミュニケーションにおけるオープンアクセスの意義を考える。
- 8) CoCOAR 刊行 11号(2020年9月) 12号(2021年3月(予定))

(3) 作業部会の活動

1) 研究データ作業部会

- ・データベースレスキュープロジェクト:技術的課題の検討班(A班)とデータベースレスキューマニュアル作成班(B班)に分かれて活動。活動成果の取りまとめ(2021年3月頃(予定))
- ・RDM事例形成プロジェクト:アンケート調査実施(11月27日~12月28日)、AXIES年次大会RDM企画セッションで取組を紹介(オンライン)(12月9日)、アンケート集計・分析(2021年1~2月(予定))、活動成果の取りまとめ(3月(予定))
- ・研究者向けRDM教材作成プロジェクト:RDM教材スライド草案・RDM教材スクリプト案作成(4月~7月)、教材「研究者のための研究データマネジメント」の公開(10月30日)、図書館総合展JPCOARフォーラムにおいて教材を紹介(11月4日)、研究支援者向けRDM教材の改訂(2021年3月(予定))
- ・AXIES-RDM部会との連携:「JPCOAR研究データ作業部会とAXIES研究データマネジメント部会間の協力について」の文書取り交わし(7月)、第1回連絡会(10月1日)、第2回連絡会(2021年1月15日)、AXIES-JPCOAR研究データワークショップの開催(2021年2月19日(予定))

2) コンテンツ流通促進作業部会

- ・ワークフローチーム:ワークフロー・システム強化の検討、図書館総合展での中間

報告・活動広報（11月）、ワークフロー・システム強化について次年度を見越した検討（名寄せに関わるワークフローの検討）（11月～12月）

- ・SCPJ チーム：学術情報基盤オープンフォーラム2020における発表（2020年6月）、IRDBのデータ調査（6月～7月）、データメンテナンス試行（10月）、データメンテナンス（約2,000学会にデータ更新の依頼メールを送信）（12月～2021年2月）（予定）
- ・メタデータチーム：COAR2020年第11回年次総会（オンライン形式）への参加（2020年4月）、学術情報基盤オープンフォーラム2020における発表（6月）、「IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」の改訂（7月）、NII・JST・NDLによる事業連携「デジタル・アーカイブのメタデータ流通検討」への参加（7月～）、大学図書館問題研究会第51回全国大会課題別第5分科会における発表（10月）、人材育成作業部会と連携した学術コミュニケーション技術セミナー（JPCOAR Monday）の実施（11月～12月）
- ・JAIRO Cloud チーム：次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストドキュメントの作成協力（2020年5月）、次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストサポート動画を作成・公開（5月～7月）、次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストオンライン講習会を実施（7月）、コミュニティ強化支援作業部会と協力し、 β テストに関する質問対応（6月～7月）、 β テストに関する要望のとりまとめと提案（8月～10月）、コミュニティ強化支援作業部会と協力し、新 JAIRO Cloud 移行に関する質問対応（2021年1月以降（予定））、コミュニティ強化支援作業部会・人材育成作業部会と協力し、「新 JAIRO Cloud 勉強会」の企画（2021年1月以降（予定））
- ・調査チーム：DOIの普及状況について調査（2020年9～11月）、ORCID・科研費研究者番号の普及状況について調査（11～12月）、報告書作成（2021年1月～3月（予定））

3) コミュニティ強化・支援作業部会 2020年度活動報告

- ・CoCOAR 刊行 11号（2020年9月）12号（2021年3月（予定））
- ・JAIRO Cloud 移行 β テスト（2020年6～7月）
- ・おすすめのOAリソース公開（6月24日）
https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?page_id=147（随時更新中）
- ・オープンアクセスウィーク：オリジナルポスター・素材作成、特設サイトでの事例紹介（10月19～25日）
- ・第22回図書館総合展フォーラム「いまこそオープン JPCOAR2020（11月4日）
- ・メーリングリスト（Community ML, JAIRO Cloud Community ML）運用開始（12月）

4) 人材育成作業部会

- ・基礎研修（オープンアクセス新任担当者研修）申込者総数：660名
 10月9日・12日 オープンアクセスの概要（計520名参加）
 12月4日・11日 機関リポジトリの管理（計391名参加）
 12月8日・11日 機関リポジトリの著作権とケーススタディ（計461名参加）
- ・専門研修（学術コミュニケーション技術セミナー）申込者総数：585名
 10月26日 オープンアクセス及び機関リポジトリ周辺技術解説（293名参加）
 11月2日 デジタル・アーカイブ周辺技術解説（312名参加）
 11月16日 電子ジャーナル・データベース周辺技術解説（360名参加）
 12月7日 著者名・機関識別子、検索サービス周辺技術解説（314名参加）
- ・JAIRO Cloud 新バージョン関連の研修会（検討中）

(4) 海外会議参加

- ・COAR2020 第11回年次総会（2020年4月24日）（オンライン開催）
 2020年4月20-24日にペルーにて開催予定であった年次総会が、COVID-19の影響により中止となり、代替として4月24日にウェブ会議で開催された。作業部会員1名がオンラインで出席し、情報交換を行った。
- ・Asia OA Meeting 2020（2020年9月9日～16日）（オンライン開催）
 JPCOAR事務局員による活動報告及び情報交換・入手
 国立国会図書館カレントアウェアネス-Eでの報告

(5) 成果等

- 1) 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テスト動画教材の公開（2020年6月）
- 2) 教材「研究者のための研究データマネジメント」公開（2020年10月）
- 3) "COAR Community Framework for Good Practices in Repositories"日本語訳作成、公開（2020年12月）
- 4) RDM アンケート活動成果の取りまとめ（2021年3月予定）
- 5) データベースレスキューマニュアル（2021年3月公開予定）

5. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会名簿

氏名	所属機関・役職	委員長・主査
結城 憲司	北海道大学附属図書館研究支援課長	研究データ作業部会主査
鈴木 秀樹	筑波大学学術情報部長	
江川 和子	東京大学附属図書館事務部長	運営委員会委員長
高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長	コンテンツ流通促進作業部会主査
杉田 茂樹	京都大学附属図書館学術支援課長	人材育成作業部会主査
西岡 千文	京都大学附属図書館研究開発室助教	
尾崎 文代	岡山大学附属図書館情報管理課長	コミュニティ強化・支援作業部会主査
山本 和雄	鹿児島大学学術情報部長	
板倉 由美子	富山県立大学事務局教務課長	
鈴木 恵津子	東京家政大学図書館	
折戸 晶子	明治大学図書館総務事務長	
原 修	立教大学図書館副館長	
川崎 安子	武庫川女子大学附属図書館図書課長	
林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教	
小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長	

※2020年4月14日の臨時総会審議にて承認。

(2) 作業部会メンバー (◎主査、○副主査)

研究データ作業部会

氏名	所属機関・役職
◎ 結城 憲司	北海道大学附属図書館研究支援課長
千葉 浩之	北海道大学附属図書館研究支援課北キャンパスグループ北キャンパス合同事務部・図書担当係長
三上 絢子	北海道大学附属図書館研究支援課研究支援企画担当
芝 翔太郎	北海道大学附属図書館研究支援課函館キャンパスグループ水産学部図書担当
中筋 知恵	小樽商科大学学術情報課専門職員
松野 涉	筑波大学学術情報部情報企画課デジタルライブラリ担当
小林 裕太	千葉大学附属図書館学術コンテンツ課亥鼻分館係図書系職員
中竹 聖也	東京大学情報システム部情報基盤課学術情報チーム（デジタルライブラリ担当）係員
岩井 雅史	信州大学附属図書館情報システムグループ主査
○ 天野 絵里子	京都大学学術研究支援室特定専門業務職員
木下 直	鳥取大学研究推進部図書館情報課長
大園 隼彦	岡山大学附属図書館情報管理課情報整備グループ主査
西薊 由依	鹿児島大学学術情報部情報サービス課桜ヶ丘分館情報サービス係長
小野寺 千栄	国立研究開発法人物質・材料研究機構統合型材料開発・情報基盤部門材料データプラットフォームセンター図書チームリーダー
田邊 浩介	国立研究開発法人物質・材料研究機構統合型材料開発・情報基盤部門材料データプラットフォームセンターデータシステムグループ主任エンジニア

	天野 晃	国立研究開発法人物質・材料研究機構統合型材料開発・情報基盤部門材料データプラットフォームセンターデータシステムグループ NIMS エンジニア（～2020年7月）
	榎本 翔	日本貿易振興機構アジア経済研究所学術情報センター図書館情報課
	船守 美穂	国立情報学研究所情報社会相関研究系准教授/オープンサイエンス基盤研究センター
	古川 雅子	国立情報学研究所情報社会相関研究系助教/オープンサイエンス基盤研究センター
	常川 真央	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教
○	南山 泰之	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任技術専門員
	末田 真樹子	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係員（研究データ基盤整備チーム）
	安原 通代	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室主任

コンテンツ流通促進作業部会

氏 名	所 属 機 関 ・ 役 職
◎ 高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長
○ 前田 隼	北海道大学附属図書館管理課目録担当係員
藤田 祥子	筑波大学学術情報部情報企画課リポジトリ担当係長
田口 忠祐	東京大学医学部・医学系研究科図書情報チーム係長
前田 朗	東京大学情報システム部情報基盤課学術情報チーム（図書館システム担当）上席係長
○ 松原 恵	東京大学情報システム部情報基盤課学術情報チーム係長
瀬川 結美	東京学芸大学総務部学術情報課利用者サービス係長
○ 片岡 朋子	お茶の水女子大学図書・情報課主任（情報基盤担当）

	菅原 光	一橋大学学術・図書部学術情報課電子情報係長
	湯本 寛深	信州大学附属図書館情報システムグループ係員
	林 和宏	名古屋大学附属図書館情報管理課専門職員
	西岡 千文	京都大学附属図書館研究開発室助教
	三木 保孝	大阪大学附属図書館学術情報整備室専門職員（電子コンテンツ主担当）
○	松村 友花	神戸大学附属図書館情報管理課電子図書館係
	泉 愛	九州大学附属図書館医学図書館参考調査係係員
	大谷 周平	琉球大学附属図書館情報サービス課電子情報係長
	上原 藤子	沖縄科学技術大学院大学アシスタント・マネージャー
	林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教
	尾城 孝一	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任研究員
	河合 将志	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任研究員
	住吉 誠	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任技術専門員
	新妻 聡	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長（研究データ基盤整備チーム）
	林 豊	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長（研究データ基盤整備チーム）
	末田 真樹子	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係員（研究データ基盤整備チーム）
	増山 廣美	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究データ基盤整備チーム学術支援技術専門員
	丸山 寛	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究データ基盤整備チーム学術支援技術専門員

コミュニティ強化・支援作業部会

氏 名		所 属 機 関 ・ 役 職
◎	尾崎 文代	岡山大学附属図書館情報管理課長
	栗田 とも子	北見工業大学情報図書課目録管理担当係長
	南雲 修司	東京工業大学研究推進部情報図書館課利用支援グループ主任
	星野 英恵	新潟大学学術情報部学術情報管理課情報基盤係
	西村 恭佑	富山大学学術情報部図書館利用支援課事務職員
	山田 裕果	鳥取大学研究推進部図書館情報課医学情報係員
○	大園 隼彦	岡山大学附属図書館情報管理課情報整備グループ主査
	植山 廣紀	岡山大学附属図書館情報管理課情報整備グループ
	上田 大輔	広島大学学術・社会連携室図書館部図書学術情報企画副グループリーダー
○	大谷 周平	琉球大学附属図書館情報サービス課電子情報係長
	熊崎 由衣	日本原子力研究開発機構研究連携成果展開部研究成果管理課（一般職）
	林 豊	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長（研究データ基盤整備チーム）

人材育成作業部会

氏 名		所 属 機 関 ・ 役 職
◎	杉田 茂樹	京都大学附属図書館学術支援課長
○	下城 陽介	東京大学附属図書館総務課企画渉外係主任
	寺升 夕希	滋賀医科大学情報課学術企画係専門職員
	鈴木 祐介	政策研究大学院大学学術国際課情報サービス担当主査
	上田 木綿子	総合研究大学院大学附属図書館学術情報基盤事務室
○	鈴木 恵津子	東京家政大学図書館
	山崎 圭	法政大学図書館事務部小金井事務課
	加川 みどり	神戸松蔭女子学院大学図書館
	川崎 安子	武庫川女子大学附属図書館図書課長
	山口 美咲	国立女性教育会館情報課情報企画班長

(3) 事務局員

氏 名
安原 通代 (国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室主任)
木村 優 (国立情報学研究所による支援要員)
杉山 美紀 (国立情報学研究所事務補佐員) [人件費負担: JPCOAR]

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

2020 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）活動計画

2020 年 3 月 17 日
総 会 承 認

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
担当：研究データ作業部会
 - (1) 新 JAIRO Cloud において研究データ公開を促進する活動を検討・実施する。
(1.1、1.2) 注
 - ★ (2) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。(1.2)
 - ★ (3) 大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM 部会）と連携して、RDM 事例形成プロジェクト等の研究データポリシー雛形作成に向けた活動を実施する。(1.2、1.3)
 - ★ (4) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。(1.3)

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
担当：コンテンツ流通促進作業部会
 - ★ (1) コンテンツ収集に関する調査結果にもとづき、ワークフローを考慮したオープンアクセスインフラ機能を検討する。(2.1)(2.2)(2.6)
 - ★ (2) 著作権ポリシーのデータメンテナンスを検討し、オープンアクセスのインフラを整備する。(2.2)(2.1)(2.6)
 - (3) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施するとともに、永続識別子の活用やライセンスの付与の促進活動を行う。(2.3)(2.4)(2.5)
 - ★ (4) 新 JAIRO Cloud への移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。(2.6)
 - (5) データを用いてオープンアクセスの状況や識別子の普及状況等を調査・分析する。(2.1)(2.4)

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
担当：コミュニティ強化・支援作業部会
 - ★ (1) 協会 HP、Facebook、twitter、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。(3.2)
 - ★ (2) JAIRO Cloud コミュニティのサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新 JAIRO Cloud への移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。(3.1、3.3)

- ★ (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。(3.1、3.4、3.5、4.2)
 - (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図る。(3.5)
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
- 担当：人材育成作業部会
- (1) 研修の編成、内容について継続的に検討・評価を行う。(4.1)
 - (2) 基礎研修：オープンアクセス（機関リポジトリ運営を含む）に関する基礎的な研修を実施する。(4.2)
- ★ (3) 専門研修：JAIRO Cloud 新バージョンの紹介・操作説明会等を実施する。(4.2)
5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。
- 担当：運営委員会
- ★ (1) 作業部会間、運営委員会と各作業部会との連絡を密にし、協会の情報収集力、企画力の強化をはかる。
 - ★ (2) 事務局員の確保を図り、継続的な事務局体制を整備する。(5.1)
 - (3) 作業部会員の横断的な活動を組織化し、海外の動向調査等、若手、中堅職員のレベルアップを図り、人的活動基盤を強化する。(4.2、4.3)
 - (4) 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での認知度を向上させる。(3.2、5.2)
 - (5) COAR Annual Meeting 及び COAR Asia OA Meeting 等に会員を派遣し、JPCOAR のプレゼンスを高める。(4.3、5.2、5.4)
 - (6) 国大図協オープンアクセス委員会、これからの学術情報システム構築検討委員会、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）及び学術情報流通推進委員会（SPARC Japan）との連携体制を強化し、文部科学省、内閣府等の政策の動き及び COAR 等の動きへの適切な対応を行う。(5.3、5.4)

注：「JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」活動計画の項番を示す。以下同じ。

★：2020 年度活動計画の重点項目。

作業部会 2020 年度活動報告

1. 研究データ作業部会
2. コンテンツ流通促進作業部会
3. コミュニティ強化・支援作業部会
4. 人材育成作業部会

研究データ作業部会 2020 年度活動報告

主査：結城 憲司

1. 2020 年度活動計画

- (1) 新 JAIRO Cloud において研究データ公開を促進する活動を検討・実施する。
 - ・新 JAIRO Cloud 移行作業に遅れが出ていることから、活動は検討に留まると思われる。
- (2) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。
 - ・昨年度に引き続き各機関においてデータベースレスキューを実施し、データベースレスキューにおける技術的検討とマニュアル作成を予定。
- (3) 大学 ICT 推進協議会研究データマネジメント部会 (AXIES-RDM 部会) と連携して、RDM 事例形成プロジェクト等の研究データポリシー雛形作成に向けた活動を実施する。
 - ・JPCOAR 参加機関、AXIES 参加機関を主たる対象とした、RDM 取り組み状況に関するアンケート調査の実施。
- (4) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。
 - ・昨年度に引き続き RDM 教材を作成し、10 月に教材「研究者のための研究データマネジメント」を公開。なお、教材の対象を「若手研究者向け」から「研究者向け」に変更。

※上記の活動計画のうち、優先的に実施するのは (2) ～ (4)。

2. 会合・活動状況 (4～3 月)

(1) 全体

- ・6 月 11 日 第 1 回研究データ作業部会全体ミーティング (オンライン)
 - ・7 月 17 日 AXIES-RDM 部会と協力事業に関するミーティング (オンライン)
 - ・10 月 1 日 第 1 回 AXIES-RDM 部会との会合 (オンライン)
 - ・10 月 9 日、12 日 オープンアクセス新任担当者研修「研究データの管理と公開」の講師担当 (オンライン)
 - ・10 月 26 日 第 2 回研究データ作業部会全体ミーティング (オンライン)
 - ・11 月 4 日 図書館総合展 JPCOAR フォーラムでの発表 (オンライン)
 - ・11 月～12 月 AXIES-RDM 部会と共同で用語集作成
 - ・12 月 2 日 研究データ利活用協議会 (RDUF) 総会での発表 (オンライン)
 - ・12 月 9 日 AXIES 年次大会 RDM 企画セッションで取組を紹介 (オンライン)
 - ・2021 年 1 月 15 日 第 2 回 AXIES-RDM 部会との会合 (オンライン)
 - ・1 月 25 日 第 3 回研究データ作業部会全体ミーティング (オンライン)
- (以降は予定)
- ・2 月 19 日 AXIES-RDM 部会とのワークショップ (オンライン)

(2) データベースレスキュープロジェクト（副主査：京都大学・天野さん）

- ・ 9月28日 第1回ミーティング（オンライン）
- ・ 10月～2021年2月 技術的課題の検討班（A班）とデータベースレスキューマニユアル作成班（B班）に分かれて活動
- ・ 11月30日 A班第1回打合せ（オンライン）
（以降は予定）
- ・ 2月4日 A班第2回打合せ（オンライン）
- ・ 2021年3月頃 活動成果の取りまとめ

(3) RDM 事例形成プロジェクト（副主査：NII・南山さん）

- ・ 7月6日 第1回ミーティング（オンライン）
- ・ ～7月末 RDM アンケート項目案作成
- ・ 8月7日 第2回ミーティング（オンライン）
- ・ ～8月末 設問一覧の準備（Google フォームで仮実装）
- ・ ～10月末 設問のブラッシュアップ、コメント出し、有識者レビュー
- ・ 10月27日 第3回ミーティング（オンライン）
- ・ ～11月中旬 設問の確定
- ・ 11月27日～12月28日 アンケート調査実施
- ・ 12月9日 AXIES 年次大会 RDM 企画セッションで取組を紹介（オンライン）
- ・ 1月20日 第4回ミーティング（オンライン）
 - ✓ 分析結果の確認、データの取り扱い方針の決定、今後の方向性など
- （以降は予定）
- ・ 2021年1～2月 集計・分析
- ・ 3月頃 活動成果の取りまとめ

(4) 研究者向け RDM 教材作成プロジェクト（副主査：NII・南山さん）

- ・ ～4月8日 RDM 教材スライド草案作成
- ・ 4月～5月 有識者レビュー
- ・ 5月～6月 RDM 教材スライド修正
- ・ 6月23日 第1回ミーティング（オンライン会議）
- ・ 6月～7月 RDM 教材スクリプト案作成
- ・ 8月～10月 全体の整合性を取る作業（校正・整形、用語の統一等）
- ・ 9月28日 第2回ミーティング（オンライン会議）
- ・ 10月30日 教材「研究者のための研究データマネジメント」の公開
- ・ 11月4日 図書館総合展 JPCOAR フォーラムにおいて教材を紹介
- ・ ～11月中旬 学認 LMS 掲載用の理解度確認テストの提出
- ・ 2021年1月18日 第3回ミーティング（オンライン会議）

(以降は予定)

- ・～3月 研究支援者向け RDM 教材の改訂

3. 成果物 (予定も含む)

- ・研究者向け RDM 教材「研究者のための研究データマネジメント」(10月30日公開)
- ・RDM アンケート活動成果の取りまとめ (3月予定)
- ・データベースレスキューマニュアル (3月公開予定)

コンテンツ流通促進作業部会 2020 年度活動報告

主査：高橋 菜奈子

1. 2020 年度活動計画

- (1) コンテンツ収集に関する調査結果にもとづき、ワークフローを考慮したオープンアクセスインフラ機能を検討する。
- (2) 著作権ポリシーのデータメンテナンスを検討し、オープンアクセスのインフラを整備する。
- (3) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施するとともに、永続識別子の活用やライセンスの付与の促進活動を行う。
- (4) 新 JAIRO Cloud への移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。
- (5) データを用いてオープンアクセスの状況や識別子の普及状況等を調査・分析する。

2. 会合・活動状況 (4~3 月)

- ・ 6 月 15 日 第 1 回全体ミーティング (オンライン)
全体を 4 つのチームにわけて、活動することとなった。
 - ・ ワークフローチーム (前田隼<副主査>、藤田、菅原、林和宏、三木、松村、泉、林正治、河合、尾城、末田)
 - ・ SCPJ チーム (松村<副主査>、藤田、菅原、大谷、河合、林豊)
 - ・ メタデータチーム (片岡<副主査>、田口、瀬川、新妻、増山、末田)
 - ・ JAIRO Cloud チーム (松原<副主査>、前田朗、湯本、林和宏、上原、林正治、住吉、新妻、林豊、丸山)
 - ・ 調査チーム (西岡<副主査>、前田隼、河合、尾城)
- ・ 12 月 24 日 第 2 回全体ミーティング (オンライン)
- ・ 12~2 月頃 第 3 回全体ミーティング (オンライン)

以下、各チームの活動状況

(1) ワークフローチーム

- ・ 7 月~10 月 ワークフロー・システム強化の検討 (アーカイビングポリシーDB)
新 JAIRO Cloud のコンテンツ登録の流れの中で、登録予定論文のアーカイビングポリシーを自動的に確認する機能を構築中 (RCOS)。ポリシーは一括して DB 化され、コンテンツ登録の際に DB に該当するジャーナルや出版者のポリシーを見に行く形。図書館総合展前にプロトタイプの試用実験を行い、図書館総合展後にフィードバックを踏まえて、複数機関に協力を得ての実証実験へと移行する。

- ・11月 図書館総合展での中間報告・活動広報
- ・11月19日 オンラインミーティング（アーカイビングポリシーDBの実証実験第2段階に向けて）
- ・11月～12月 ワークフロー・システム強化について次年度を見越した検討（名寄せに関わるワークフローの検討）

（2）SCPJ チーム

- ・6月 学術情報基盤オープンフォーラム2020における発表
- ・6-7月 IRDBのデータ調査（更新対象学会を検討するために、登録の多いジャーナルなどIRDBのデータにもとづき調査する）
- ・10月 データメンテナンス試行（50件の学会宛に情報提供依頼のメールを送信し、データ更新フローに基づき、データ更新をSCPJチームで試行する）
- ・11月 委託業者の検討
- ・12-2月 データメンテナンス（約2,000学会にデータ更新の依頼メールを送信、データメンテナンスを業務委託、SCPJチームは問い合わせ対応を行う）

（3）メタデータチーム

- ・4月 COAR2020年第11回年次総会（オンライン形式）への参加
- ・6月 学術情報基盤オープンフォーラム2020における発表
- ・7月 「IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン」の改訂
- ・7月～ NII・JST・NDLによる事業連携「デジタルアーカイブのメタデータ流通検討」への参加
 1. DC-NDLとJPCOARスキーマの互換性確保の検討
 2. デジタルアーカイブ対応に向けた検討
 3. 識別子の付与およびデータ交換時の取り扱いに関する検討
 4. ライセンス記述に必要なメタデータ要素等の検討
 - ▶ 1および2の成果物として、資料種別毎のメタデータ作成者向けガイドラインを整備する（2021年度予定）
- ・10月 大学図書館問題研究会第51回全国大会課題別第5分科会における発表
- ・10月～12月 人材育成作業部会と連携した学術コミュニケーション技術セミナー（JPCOAR Monday）の実施
- ・11月～1月 JPCOARスキーマガイドラインWebサイト等の改善
- ・11月～12月 JPCOARスキーマの改訂検討
- ・2月 JPCOARスキーマver1.0.3への改訂（日本語版ガイドライン、XSD）
- ・3月 JPCOARスキーマガイドライン（英語版）のver1.0.3に伴う修正

(4) JAIRO Cloud チーム

- ・5月 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストドキュメントの作成協力
- ・5月～7月 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストサポート動画を作成・公開
- ・7月 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストオンライン講習会を実施
- ・6月～7月 コミュニティ強化支援作業部会と協力し、 β テストに関する質問対応
- ・8月～10月 β テストに関する要望のとりまとめと提案
- ・1月3以降 コミュニティ強化支援作業部会と協力し、新 JAIRO Cloud 移行に関する質問対応
- ・1月以降 コミュニティ強化支援作業部会・人材育成作業部会と協力し、「新 JAIRO Cloud 勉強会」の企画

(5) 調査チーム

- ・6～8月頃 IRDB のメタデータの取得
- ・7～10月頃 機関リポジトリでの ORCID・科研費研究者番号の利用について調査/調査方法の検討
- ・9～11月頃 DOI の普及状況について調査
- ・11～12月頃 ORCID・科研費研究者番号の普及状況について調査
- ・1～3月頃 報告書の執筆

3. 成果物（予定も含む）

- ・6月8～10日 NII オープンフォーラムでの発表
 - 次期 JAIRO Cloud(WEKO3)： β テストおよび本番移行について 林 正治（国立情報学研究所）
 - JPCOAR スキーマの概要と今後の展開 片岡 朋子（お茶の水女子大学）
 - SCPJ の移行 松村 友花（神戸大学）
 - OA の現在の景観とグリーン OA 尾城孝一（国立情報学研究所）
 - Unpaywall を利用した日本における OA 状況の調査 西岡千文（京都大学）
 - グリーン OA 推進のための活動と IR 機能 河合将志（国立情報学研究所）
 - IR から見る日本のグリーン OA にかかるコスト 前田隼（北海道大学）
- ・6月17日 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テスト動画教材の公開
URL：
https://www.youtube.com/playlist?list=PLCQ83xhZOyeW0KUC7mlx6Fe_j86sCclGI（2020/8/14 一般公開終了）
- ・6月25日～7月31日 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストのサポート
 - ・フィードバックフォーム要望まとめ（JAIRO Cloud チーム）：

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000246/>

- ・フィードバックフォーム_質問 (コミュニティ作業部会による作成) :

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000239/>

- ・7月2日,8日,16日,22日 次期 JAIRO Cloud β テストのためのオンライン講習会
- ・7月21日「IRDB データ提供機関のための DOI 管理・メタデータ入力ガイドライン」の改訂

- JPCOAR スキーマ編 : <http://id.nii.ac.jp/1458/00000135/>

- junii2 編 : <http://id.nii.ac.jp/1458/00000185/>

- ・10月11日 大学図書館問題研究会第51回全国大会「オープンサイエンスのためのメタデータ座談会:JPCOAR スキーマを中心に」への参加 大谷周平(琉球大学)、瀬川結美(東京学芸大学)、末田真樹子(国立情報学研究所)、片岡朋子(お茶の水女子大学)

URL : <http://id.nii.ac.jp/1458/00000502/>

- ・学術コミュニケーション技術セミナー (JPCOAR Monday) での発表、運営協力
 - リポジトリ周辺技術解説(1) [JPCOAR スキーマ] 瀬川結美(東京学芸大学)
 - リポジトリ周辺技術解説(2) [OAI-PMH, ResourceSync, IRDB] 田口忠祐(東京大学)、片岡 朋子(お茶の水女子大学)
 - デジタル・アーカイブ周辺技術解説(1)[IIIF] 西岡千文(京都大学)
 - 電子ジャーナル・データベース周辺技術解説(1)[COUNTER] 末田真樹子(国立情報学研究所)
- ・図書館総合展での発表
 - ・11月4日 NII 主催イベント「まったなし次期 JAIRO Cloud 本番移行」
<https://www.nii.ac.jp/event/other/libraryfair/>
 - 次期 JAIRO Cloud 本番移行のスケジュール 林正治(国立情報学研究所)
 - 次期 JAIROCloud (WEKO3) データ移行仕様について 林豊(国立情報学研究所)
 - 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) β テストフィードバックのとりまとめ 松原恵(東京大学)
 - ・11月5日 JPCOAR 主催イベント「いまこそオープン JPCOAR2020」
<https://2020.libraryfair.jp/forum/2020/f007>
 - グリーン OA 調査の結果報告 河合将志(国立情報学研究所)
 - JPCOAR ワークフロー検討チームの活動 前田隼(北海道大学)
 - ・11月4日 NII 主催イベント「機関リポジトリについて考えよう!アーカイビングポリシーデータベース連携と制限公開からみる将来像」
<https://www.nii.ac.jp/event/other/libraryfair/>
 - アーカイビングポリシーDB 連携機能 河合将志(国立情報学研究所)
 - アーカイビングポリシーデータベース連携機能実証実験の成果報告 藤田祥子

(筑波大学)

- ・ 各種発表資料 (予定)
- ・ JAIRO Cloud サポート資料等 (予定)
- ・ SCPJ データメンテナンス (予定)
- ・ DOI、ORCID、科研費研究者番号の普及状況について調査結果報告書 (予定)

4. その他

- ・ CRIS 国際会議の開催目途がたたないため、調査報告書をリポジトリで公開
“Measuring the Impact of Use of External Databases at Institutional Repositories for Promotion of Open Access” Chifumi Nishioka (Kyoto University Library, Japan) Jun Maeda (Hokkaido University Library, Japan) Masashi Kawai (National Institute of Informatics, Japan)
URL : <http://id.nii.ac.jp/1458/00000222/>
- ・ "COAR Community Framework for Good Practices in Repositories"の翻訳作業に作業部会員を推薦。
-南山泰之,尾城孝一,安原通代,菅原光「リポジトリのグッドプラクティスのためのCOAR コミュニティフレームワーク」<http://doi.org/10.34477/00000534>

コミュニティ強化・支援作業部会 2020 年度活動報告

主査：尾崎 文代

1. 2020 年度活動計画

- (1) 協会 HP、Facebook、twitter、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。
- (2) JAIRO Cloud コミュニティのサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新 JAIRO Cloud への移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。
- (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。
- (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図る。

2. 会合・活動状況 (4~3 月)

- ・6月2日 第1回ミーティング (オンライン 以下同)
活動計画、作業分担
 - (1) ウェブサイト、CoCOAR (9,3 月予定)、おすすめの OA リソース
国際連携活動の情報収集
 - (2) JC β テスト、コミュニティサイト、コミュニティツール (G suite)
ウェブサイト移行・IRPC のアーカイブ
 - (3) 図書館総合展フォーラム (オンライン開催)、OAW
- ・6~7月 JAIRO Cloud 移行 β テスト
- ・6月24日 おすすめの OA リソース公開
- ・7月3日 第2回ミーティング
- ・8月4日 第3回ミーティング
- ・9月11日 第4回ミーティング
- ・9月30日 CoCOAR11 号発行
- ・10月8日 第5回ミーティング
- ・10月19~25日 オープンアクセスウィーク
オリジナルポスター・素材作成、特設サイトでの事例紹介
- ・11月4日 第22回図書館総合展フォーラム「いまこそオープン JPCOAR2020」
- ・11月18日 第6回ミーティング
- ・12月21日 第7回ミーティング (以降 月1回)
- ・12月 機関リポジトリ推進委員会・JC コミュニティサイト 更新終了予定
メーリングリスト (Community ML, JAIRO Cloud Community ML) 運用開始
- ・1月 ウェブサイト統合・移行予定
- ・3月末 CoCOAR12 号発行予定

3. 成果物（予定も含む）

- ・おすすめの OA リソース（随時更新中）

- ・ https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?page_id=147

人材育成作業部会 2020 年度活動報告

主査：杉田 茂樹

1. 2020 年度活動計画

- (1) 研修の編成、内容について継続的に検討・評価を行う
- (2) 基礎研修：オープンアクセス（機関リポジトリ運営を含む）に関する基礎的な研修を実施する
- (3) 専門研修：学術情報流通に関する各種要素技術の理解のためのセミナーを実施する
- (4) 専門研修：JAIRO Cloud 新バージョンの紹介・操作説明会を実施する

2. 会合・活動状況（4～3月）

- ・ 7月21日 オンラインミーティング（全体＋基礎研修打ち合わせ）
- ・ 7月29日 オンラインミーティング（専門研修打ち合わせ）
- ・ 8月24日 オンラインミーティング（専門研修打ち合わせ）
- ・ 研修実施のための Webex の操作練習・打ち合わせ（随時）
- ・ 基礎研修（オープンアクセス新任担当者研修）申込者総数：660名
 - 10月9日・12日 オープンアクセスの概要（計520名参加）
 - 12月4日・11日 機関リポジトリの管理（計391名参加）
 - 12月8日・11日 機関リポジトリの著作権とケーススタディ（計461名参加）
- ・ 専門研修（学術コミュニケーション技術セミナー）申込者総数：585名
 - 10月26日 オープンアクセス及び機関リポジトリ周辺技術解説（293名参加）
 - 11月2日 デジタル・アーカイブ周辺技術解説（312名参加）
 - 11月16日 電子ジャーナル・データベース周辺技術解説（360名参加）
 - 12月7日 著者名・機関識別子、検索サービス周辺技術解説（314名参加）
- ・ 検討中 JAIRO Cloud 新バージョン関連の研修会
- ・ 次年度計画のためのオンラインミーティング開催を予定

3. 成果物（予定も含む）

- ・ 研修資料の公開

2020年度オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）決算（経過報告）

<収入の部>

科目	2020年度 当初予算額	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (B)-(A)	備考
1. 会費	14,600,000	15,400,000	800,000	2020年度会員機関数: 662(1月現在) 区分A:586 x 2万円 = 11,720千円 区分B:44 x 4万円 = 1,760千円 区分C:32 x 6万円 = 1,920千円
計	14,600,000	15,400,000	800,000	

<支出の部>

科目	2020年度 当初予算額	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (B-A)	備考
1. 事務局経費	11,500,000	13,386,000	1,886,000	
(1) 事務協力費	9,200,000	9,450,000	250,000	事務協力費及び事務補佐員人件費※1
(2) 事務局運営費	2,300,000	3,936,000	1,636,000	窓口委託、会員コミュニケーションツール、オンライン研修等中継用PC、その他
2. 運営委員会等経費	250,000	0	▲ 250,000	
活動費	200,000	0	▲ 200,000	
監事監査費	50,000	0	▲ 50,000	
3. 総会経費	670,000	494,000	▲ 176,000	
総会会場費	220,000	0	▲ 220,000	
総会運営費	300,000	484,000	184,000	オンライン総会運営支援委託
総会旅費	150,000	10,000	▲ 140,000	
4. 図書館総合展出展	100,000	399,000	299,000	オンラインイベント運営支援委託
5. 部会活動費	1,070,000	1,121,000	51,000	
研究データ作業部会	150,000	94,000	▲ 56,000	RDMアンケート調査集計作業委託
コンテンツ流通促進作業部会	420,000	1,027,000	607,000	SCPJデータメンテナンス、その他
コミュニティ強化・支援作業部会	250,000	0	▲ 250,000	
人材育成作業部会	250,000	0	▲ 250,000	
6. 国際連携活動費	1,010,000	0	▲ 1,010,000	
海外派遣旅費	0	0	0	
COAR会費	1,010,000	0	▲ 1,010,000	
計	14,600,000	15,400,000	800,000	

※ 国立情報学研究所予算からの支援は、2020年度は不要とする。

※ 1：「事務補佐員」の該当者は1人のため、当該個人に関する情報が特定されるおそれのあることから、事務協力費の内訳は示さない。

JAIRO Cloud利用料金

<収入の部>

科目	2020年度 当初予算額	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (B)-(A)	備考
JAIRO Cloud利用料金	61,908,000	67,749,000	5,841,000	2020年度利用機関数 1月：608
計	61,908,000	67,749,000	5,841,000	

<支出の部>

科目	2020年度 当初予算額	2020年度 決算見込額(B)	増▲減 (B)-(A)	備考
JAIRO Cloud運用費	61,908,000	67,749,000	5,841,000	
計	61,908,000	67,749,000	5,841,000	

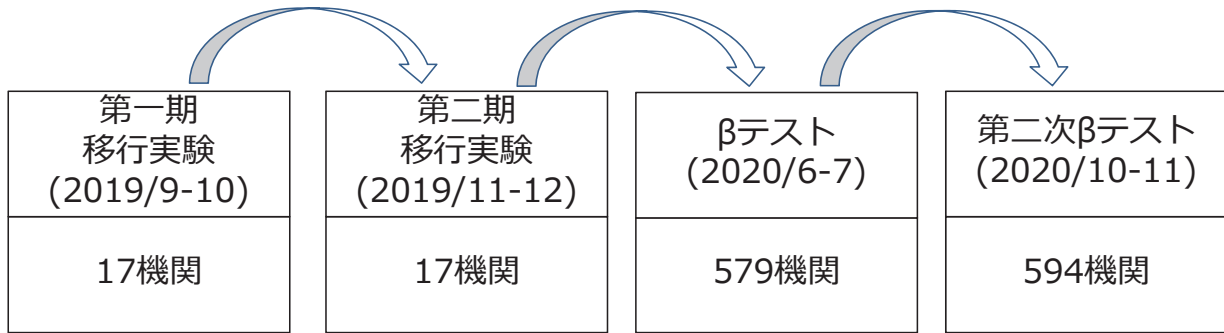
次期JAIRO Cloud (WEK03)への 移行について

2021.3

国立情報学研究所

本日の内容

- はじめに
- 移行スケジュールについて
- 第二次βテストフィードバック
- 先行移行・先行環境提供について



テストおよびフィードバックへのご協力
まことにありがとうございます

本番移行の延期については
多大なご迷惑をおかけしております

全力で修正に取り組んでいますので
引き続きのご協力を何卒お願いいたします

移行スケジュール（概要）

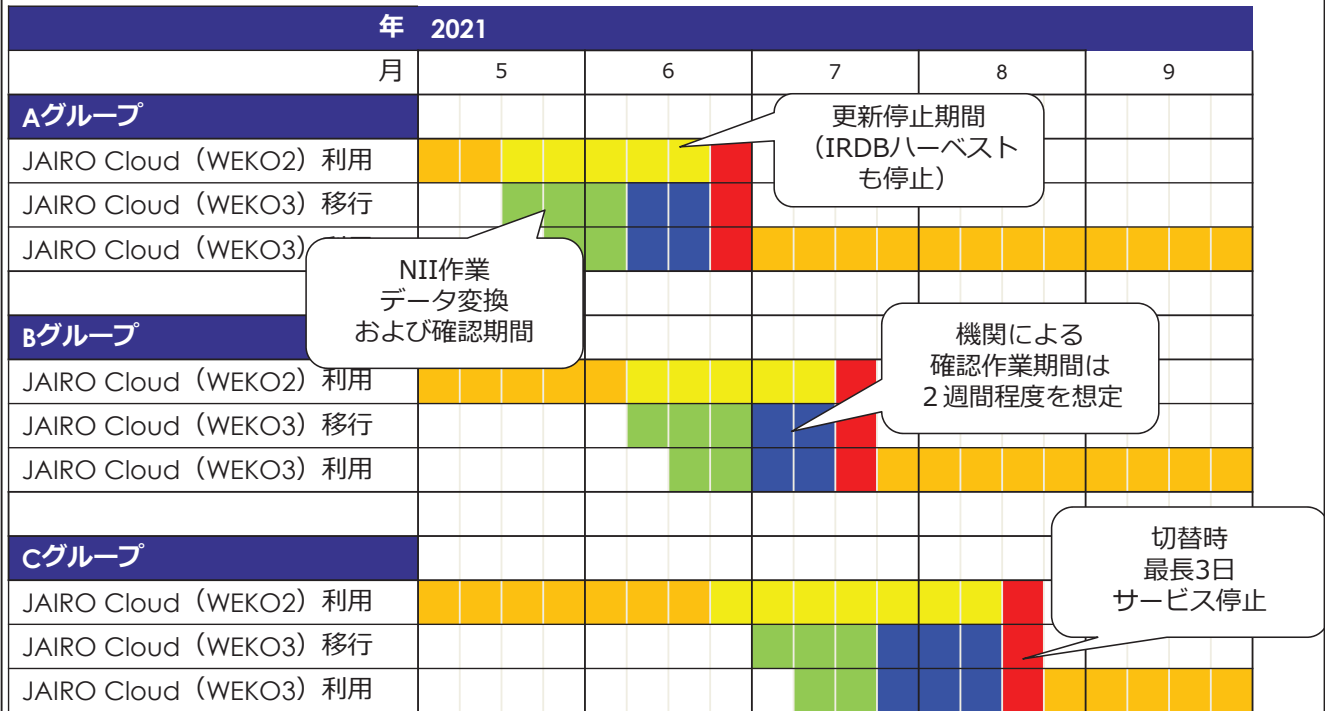
6月から本番移行を開始予定（IRDB停止は5月から）

	年														
	2020	2021	月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
JAIRO Cloud (WEKO2) 運用期間															
JAIRO Cloud (WEKO2) 利用申請受付							~3/19(金)								
JAIRO Cloud (WEKO2) 新規環境提供															
JAIRO Cloud (WEKO2) 更新停止															
JAIRO Cloud (WEKO3) 本番移行															
JAIRO Cloud (WEKO3) 利用申請受付								3/20(土)~							
JAIRO Cloud (WEKO3) 新規環境提供															
JAIRO Cloud (WEKO3) 先行機関															

移行に伴う停止期間は最長3日を想定
詳細スケジュールは4月上旬公開

移行スケジュール（本番移行）

全体を3グループに分け、段階的に移行を実施



独自ドメイン、CNRI利用機関は切替時作業へのご協力もお願いします

移行スケジュール（手続き）

3月20（土）以降はJAIRO Cloud(WEKO3)での提供

	年													
	2020	2021	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
JAIRO Cloud (WEKO2) 運用期間	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
JAIRO Cloud (WEKO2) 利用申請受付					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
JAIRO Cloud (WEKO2) 新規環境提供	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
JAIRO Cloud (WEKO3) 利用申請受付							■	■	■	■	■	■	■	■
JAIRO Cloud (WEKO3) 新規環境提供												■	■	■

JAIRO Cloud(WEKO3)での新規環境提供は8月を予定

先行移行機関の状況も踏まえ移行スケジュールの詳細化を実施

- 期間
 - 2020年10月27日（火）～11月13日（金）
- 対象期間
 - 全機関
- 問い合わせ（583件）
 - アイテムタイプ 83
 - インデックス・アイテムリスト 83
 - アイテム詳細画面 76
 - 一括処理 71
 - アイテム登録 56
 - デザイン&レイアウト 32
 - 検索 29
 - ユーザ認証 25
 - 著者DB 25
 - データ移行 24
 - 利用統計 10
 - インデックスツリー・雑誌情報 9
 - その他機能 5
 - 新機能 5
 - 性能 3
 - その他 47



課題抽出件数：185件

対応状況(2021/2/26)
 123件終了
 38件終了見込み
 24件対応中

第二次βテストで問い合わせから
 重要度の高い問題を中心に修正を実施

変換対象

	ディスク容量 (コンテンツのみ※)	アイテム数	ログ件数
最大	191GB	75360	45,438,212
最小	0	0	21
中央	1GB	749	416,121
合計	3,648GB	1,853,037	607,897,109

※データベースおよびログファイル等は含まない

データ移行期間としてグループあたり13日を予定
 変換処理に10日前後+事前準備等で3日

先行移行機関

次期JAIRO Cloud移行状況の検証・確認へのご協力

- 東京大学
- 信州大学
- 名古屋大学
- お茶の水女子大学
- 筑波大学
- 北見工業大学
- 新潟大学
- JPCOARウェブサイト
- 国立情報学研究所

先行環境提供機関

次期JAIRO Cloud新規機能の検証・確認へのご協力

- 大阪商業大学
- 一橋大学

先行機関のフィードバックを反映し、全体移行を実施

先行移行機関スケジュール

日時	NII作業	利用機関作業
2021年2月22日（月）15:00まで	現行JAIRO Cloud（WEKO2） IRDBハーベスト停止	
2021年2月22日（月）19:00		現行JAIRO Cloud（WEKO2） データ更新停止
	データ変換開始	
2021年3月8日（月） ～2021年3月19日（金）		先行移行環境確認期間 ※この時点で2020年度内 （2020/4/1～2021/2/22）の統計データを移行
2021年3月23日（火）	次期JAIRO Cloud（WEKO3）への切替作業（WEKO2環境公開停止、WEKO3環境公開、独自ドメイン利用機関以外のDNS設定変更、Yハンドルリダイレクト設定）	DNS切替（独自ドメイン利用機関）、CNRI設定変更（CNRIハンドル利用機関）
2021年3月24日（水）		次期JAIRO Cloud（WEKO3）利用開始
2021年3月24日（水）	次期JAIRO Cloud（WEKO3） IRDBハーベスト再開	
2021年3月末まで	統計データ差分移行 （2021/2/23～切替作業までのデータ）	

	年		月											
	2020	2021	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
JAIRO Cloud (WEKO2) 運用期間														
JAIRO Cloud (WEKO2) 利用申請受付					~3/19(金)									
JAIRO Cloud (WEKO2) 新規環境提供														
JAIRO Cloud (WEKO2) 更新停止														
JAIRO Cloud (WEKO3) 本番移行														
JAIRO Cloud (WEKO3) 利用申請受付								3/20(土)~						
JAIRO Cloud (WEKO3) 新規環境提供														
JAIRO Cloud (WEKO3) 先行機関														

引き続きのご協力をよろしくお願いいたします

ご清聴ありがとうございました

オープンアクセスリポジトリ推進協会会則

平成 28 年 7 月 27 日
制 定

第 1 章 総則

(設置)

第 1 条 本会は、オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下「協会」という。）と称する。
英語名称は、Japan Consortium for Open Access Repository とし、略称を JPCOAR とする。

(目的)

第 2 条 協会は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的とする。

2 協会は、前項の目的を達成するために、国公私立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所との間に締結された協定書に基づき設置された大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議と連携して活動する。

(定義)

第 3 条 この会則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 一 リポジトリ 実験や調査で得られたデータなどの学術成果物を生成するまでに収集される中間生成物（以下「研究データ」という。）を含め、学術的な情報を電子的に保存し公開するものをいう。
- 二 オープンアクセス リポジトリ等を利用して学術論文等の学術成果物を無料で公開することをいう。
- 三 オープンサイエンス 学術論文等の完成された学術成果物のみならず、リポジトリ等を利用して研究データ等の中間的な生成物を活用できる形で公開することをいう。

(事業)

第 4 条 協会は、第 2 条の目的を達成するために次の重点目標を掲げ、事業を実施する。

- 一 オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- 二 リポジトリシステム基盤の共同運営と有効活用
- 三 リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- 四 担当者の人材育成のための研修活動
- 五 国際的な取組みに対する積極的連携
- 六 前各号のほか、協会の目的を達成するために必要な事業

第2章 組織

(会員の資格)

第5条 協会の会員資格は次のとおりとする。

- 一 国立大学図書館協会、公立大学協会図書館協議会、私立大学図書館協会のいずれかに属する図書館
 - 二 科学研究費補助金取扱規程（昭和40年3月30日文部省告示第110号）第2条1項で定める研究機関
 - 三 前二号に属する部局等
 - 四 国立情報学研究所
 - 五 その他、協会の目的に賛同する大学図書館等の施設であって、運営委員会が認めたもの
- 2 前項の資格を満たす施設等機関は JAIRO Cloud を利用することができる。

(会長)

第6条 協会に会長を置く。

- 2 会長は、第10条に定める総会において、会員の中から選出する。
- 3 会長の任期は1年とし、期間は4月1日から翌年3月31日までとし、再任を妨げない。ただし、引き続き3年を超えて在任することはできない。
- 4 会長に選出された会員の長は、協会を代表する。

(監事)

第7条 協会に監事2を置く。

- 2 監事は、第10条に定める総会において、会員の中から選出する。
- 3 監事の任期は1年とし、期間は7月1日から翌年6月30日までとし、再任を妨げない。ただし、引き続き2年を超えて在任することはできない。
- 4 監事に選出された会員の長又は長を代理する者は、協会の会計を監査し総会で報告する。

(運営委員会)

第8条 協会を運営するために運営委員会を設置する。

- 2 前条第4項の者は、運営委員会の委員になることができない。
- 3 その他、運営委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第9条 協会の事務局は、国立情報学研究所に置く。

第3章 総会

(総会)

第10条 会長は、毎年1回通常総会を招集しなければならない。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、臨時総会を招集することができる。
- 3 前項に定めるもののほか、会員の10分の1以上から総会の招集を請求されたときは、会長は、臨時総会を招集しなければならない。
- 4 臨時総会は、会員に文書等で議事に対する賛否を問うことにより代えることができる。

(議長)

第11条 議長は、第6条第4項の者が務める。

(定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席をもって成立する。なお、委任状の提出をもって出席に代えることができる。

(議事)

第13条 次の事項は、総会において、承認を得なければならない。

- 一 年度事業の実施および計画に関する事項
- 二 会費の徴収および会計に関する事項
- 三 その他、必要とされる事項

第4章 参加及び脱退

(参加及び脱退)

第14条 協会に参加を希望するものは、別に定める参加申請書を会長に提出しなければならない。

- 2 協会からの脱退を希望する会員は、会長に脱退届を提出しなければならない。
- 3 会員の参加又は脱退に関する処理は運営委員会で行い、総会で報告する。

第5章 会計

(会計年度)

第15条 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌3月31日に終わる。

(会費)

第16条 会員の会費に関し必要な事項は、別に定める。

第6章 会則の変更等

(会則の変更)

第17条 この会則は、総会において会員総数の3分の2以上の同意がなければ、変更することができない。

(解散)

第18条 協会を解散する場合は、総会において会員総数の4分の3以上の同意がなければならぬ。

第7章 雑則

第19条 この会則に定めるもののほか、この会則の施行について必要な事項は、別に定める。

附 則

本会則は、平成28年7月27日から施行する。

本会則は、平成30年4月1日から施行する。

平成29年度の監事は第7条3号の規定に関わらず、その任期を1年3か月とし、期間を平成30年6月30日までとする。

オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程

平成 28 年 7 月 27 日
制 定

(設置)

第 1 条 オープンアクセスリポジトリ推進協会会則（以下「会則」という。）第 8 条の規定に基づき、オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 運営委員会は、オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下「協会」という。）の円滑な運営のため、会則第 4 条に定める事業を企画・立案し、実施することを目的とする。

(委員)

第 3 条 運営委員会は、協会会員である施設等の職員 15 名以内により組織する。

2 運営委員会の委員は、会則第 10 条の総会（以下「総会」という。）において決し、会則第 6 条第 4 項の者が委嘱する。

3 総会で必要と認められた場合、協会会員である施設等の職員以外の者を委員とすることができる。なお、この場合の委員も第 1 項に定める定員に含むものとする。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は 1 年とし、期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第 5 条 運営委員会に委員長を置く。

2 委員長は委員の互選により選出する。なお、再任を妨げない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を行う。

(作業部会)

第 6 条 運営委員会は、必要に応じて作業部会を設置することができる。

2 作業部会は次の各号に掲げる者をもって組織する。

- 一 運営委員会の委員
- 二 前号に該当しない協会会員である施設等の職員
- 三 その他、運営委員会で必要と認められた者

3 作業部会に主査を置く。主査は、前項第 1 号の委員のうちの一をもって充てる。

4 主査及び作業部会員は、委員長が委嘱する。

5 作業部会員の任期は 1 年とし、期間は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 作業部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(庶務)

第7条 運営委員会の庶務は、協会の事務局において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、運営委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成28年7月27日から施行する。

附 則

第3条の規定に関わらず、当面は大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下に設置された機関リポジトリ推進委員会をもって運営委員会に代える。

オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程

平成28年7月27日
制 定

(総則)

第1条 オープンアクセスリポジトリ推進協会会則（以下「会則」という。）の第16条に基づき、オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下「協会」という。）の会費に関して必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程における用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 「JAIRO Cloud サービス」とは、国立情報学研究所共用リポジトリサービス利用規程第2条に規定するサービスとする。
- (2) 「JAIRO Cloud 環境」とは、JAIRO Cloud サービスで使用する機関リポジトリ環境であり、JAIRO Cloud サービスの利用単位とする。
- (3) 「構成員数」とは、当該の利用機関に所属する「常勤の教員及び研究者」の人数とする。ただし、常勤の教員及び研究者を置かない機関にあっては、その人数は0人とする。
- (4) 「登録容量」とは、会員が1つの JAIRO Cloud 環境に登録等することができる上限のコンテンツ等の容量とする。
- (5) 「年度」とは、4月1日から翌年3月31日までとする。

(会費の区分)

第3条 協会の会費は、以下の各号に掲げる区分で構成する。

- 一 基本会費
- 二 JAIRO Cloud 利用料金
- 三 JAIRO Cloud 特別料金

(基本会費)

第4条 第3条第1号の基本会費は、別紙1の表1「基本会費」のとおりとする。

(JAIRO Cloud 利用料金)

第5条 第3条第2号の JAIRO Cloud 利用料金は、別紙2の表2「JAIRO Cloud 利用料金」のとおりとする。

- 2 JAIRO Cloud サービスの利用を希望する機関は、前項で定める JAIRO Cloud 利用料金を支払うものとし、1つの JAIRO Cloud 環境につき 100 ギガバイトを登録容量とする（以下「基本 JC サービス」という。）。
- 3 前項の規定にかかわらず、年度途中で利用開始となる場合には、利用開始月の翌四半期から当該年度末までの四半期ごとに前項の料金の 4 分の 1 を乗ずる額の合計額を利用料金とする。1 円未満の端数が生じる場合は、これを切り捨てる。
- 4 2つ以上の基本 JC サービスを利用する会員は、第 2 項及び第 3 項に該当する JAIRO Cloud 利用料金を合計した利用料金を支払うものとする。

（JAIRO Cloud 特別料金）

第 6 条 第 3 条第 3 号の JAIRO Cloud 特別料金は、別紙 3 の表 3 「JAIRO Cloud 特別料金」のとおりとする。

- 2 JAIRO Cloud 環境において、100 ギガバイトを超える登録容量を希望する会員は、前項で定める JAIRO Cloud 特別料金を支払うものとし、申請した区分に応じてコンテンツ等を登録できるものとする（以下「特別 JC サービス」という。）。
- 3 区分は、当該会員の申請に基づき、決定する。登録容量を増加する場合のみ、年度途中で区分を変更できるものとする。その場合、変更後の申請区分に相当する料金全額との差額を納入するものとする。
- 4 2つ以上の「特別 JC サービス」を利用する会員は、申請した区分に応じた第 1 項に定める JAIRO Cloud 特別料金を合計した特別料金を支払うものとする。

（会費の請求）

第 7 条 協会は、第 3 条に規定する会費を請求する。

- 2 すべての会員は、基本会費を納入する。
- 3 会員は、利用する JAIRO Cloud サービスに基づき、JAIRO Cloud 利用料金又は JAIRO Cloud 利用料金と JAIRO Cloud 特別料金の合計額を納入するものとする。
- 4 協会は、前項の額に消費税を加えた額を請求する。
- 5 すべての会費は、協会の事務局が指定した期日までに、指定する金融機関に振り込むものとする。
- 6 協会は、支払済みの会費を返還しない。

（基本会費の納入）

第 8 条 会員は、毎年度、協会の事務局が指定する期日までに基本会費全額を納入するものとする。

- 2 基本会費の分納は、認めないものとする。
- 3 年度の途中から入会した場合も、年額を納入するものとする。

（JAIRO Cloud 利用料金の納入）

第9条 基本JCサービスを利用する会員は、利用開始後、及び、継続の場合は毎年度、当該年度のJAIRO Cloud 利用料金の年額を納入するものとする。ただし、年度途中の利用開始後の取扱いは、第5条第3項によるものとする。

2 年度途中で利用する基本JCサービスを追加する場合、当該会員は、前項の利用料金と追加の基本JCサービスに係る利用料金の合計金額を、納入するものとする。

3 JAIRO Cloud 利用料金の分納は、認めないものとする。ただし、基本JCサービスを追加する会員は、当該年度に納入したJAIRO Cloud 料金との差額を納入するものとする。

(JAIRO Cloud 特別料金の納入)

第10条 特別JCサービスを利用する会員は、利用開始後、及び、継続の場合は毎年度、当該年度のJAIRO Cloud 特別料金の年額を納入するものとする。

2 年度途中で登録容量を増加する場合又は利用する特別JCサービスを追加する場合、当該会員は、前項の特別料金と追加の特別JCサービスに係る特別料金の合計金額を、納入するものとする。

3 JAIRO Cloud 特別料金の分納は、認めないものとする。ただし、年度途中で登録容量を増加する場合又は利用する特別JCサービスを追加する会員は、当該年度に納入したJAIRO Cloud 特別料金との差額を納入するものとする。

(支援金)

第11条 会員及び会員以外の個人又は団体会費以外の負担（以下「支援金」という。）を希望する場合は、運営委員会の承認を受けるものとする。

2 運営委員会委員長は、前項の事実が発生した場合には総会において報告を行うものとする。

(会費の管理)

第12条 会費及び支援金の管理は、協会の事務局を置く国立情報学研究所において行う。

附 則

この規程は、平成28年7月27日から施行する。

附 則

この規程は、2019年3月13日に改正し、2020年4月1日から施行する。

附 則

前の附則にかかわらず、この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020年3月17日に改正し、2021年4月1日から施行する。

別紙1

1. 第3条第1号の基本会費は、次の表1のとおりとする。

表1 基本会費

区分	構成員数	会費額（年額）
A	0 ～ 600 人	26,000 円
B	601 ～ 1,100 人	52,000 円
C	1,101 人～	78,000 円

別紙2

1. 第3条第2号のJAIRO Cloud 利用料金は、次の表2のとおりとする。

表2 JAIRO Cloud 利用料金

区分	構成員数	JAIRO Cloud 利用料金(税抜き・年額)
G1	0 ～ 100 人	40,000 円
G2	101 ～ 200 人	80,000 円
G3	201 ～ 300 人	120,000 円
G4	301 ～ 400 人	160,000 円
G5	401 ～ 500 人	200,000 円
G6	501 ～ 600 人	240,000 円
G7	601 ～ 700 人	280,000 円
G8	701 ～ 800 人	320,000 円
G9	801 ～ 900 人	360,000 円
G10	901 ～ 1,000 人	400,000 円
G11	1,001 ～ 1,100 人	440,000 円
G12	1,101 ～ 1,200 人	480,000 円
G13	1,201 ～ 1,300 人	520,000 円
G14	1,301 ～ 1,400 人	560,000 円
G15	1,401 ～ 1,500 人	600,000 円
G16	1,501 人～	640,000 円

別紙3

1. 第3条第3号のJAIRO Cloud特別料金は、登録容量に応じ、次の表3のとおりとする。

表3 JAIRO Cloud 特別料金

区分	登録容量	JAIRO Cloud 特別料金 (税抜き・年額)
S1	100GB 超 200GB 以下	20,000 円
S2	200GB 超 400GB 以下	40,000 円
S3	400GB 超 1,000GB(1TB)以下	100,000 円
S4～	1TB 超 2TB 以下	200,000 円
	登録容量が 1TB を超える場合は、1TB を 1 区分として、1TB あたりの料金を 100,000 円として算出する。	

1) 本表における「区分」とは、当該の会員が利用する1つのJAIRO Cloud環境当たりの登録容量によるものとする。

オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会設置規程

2017年3月22日
 オープンアクセスリポジトリ
 推進協会運営委員会

(総則)

第1条 「オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程」の第6条に基づき、オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下「協会」という。）の運営委員会（以下「委員会」という。）に設置する作業部会について定める。

(設置する作業部会)

第2条 委員会に、次の作業部会を設置する。

- (1) 研究データ作業部会
- (2) コンテンツ流通促進作業部会
- (3) コミュニティ強化・支援作業部会
- (4) 人材育成作業部会

2 運営委員会は、必要に応じて、時限的又は横断的な課題に係るタスクフォースを、作業部会のもとに設置できるものとする。

(研究データ作業部会)

第3条 研究データ作業部会においては、オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。

(コンテンツ流通促進作業部会)

第4条 コンテンツ流通促進作業部会においては、オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。

(コミュニティ強化・支援作業部会)

第5条 コミュニティ強化・支援作業部会においては、オープンアクセスを支えるコミュニティとしての機能を強化する。

(人材育成作業部会)

第6条 人材育成作業部会においては、オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。

(作業部会の運営)

第 7 条 作業部会の活動方針及び活動計画は、作業部会の審議を経て作業部会主査（以下「主査」という。）が策定し、委員会の承認を得るものとする。

2 主査は、委員会において作業部会の活動状況を報告するものとする。

3 主査は、作業部会員から副主査を指名することができる。

4 作業部会の業務遂行において必要な場合は、作業部会委員以外の者の協力を得ることができるものとする。

(庶務)

第 8 条 各作業部会の庶務は、協会事務局において処理する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、2019 年 3 月 13 日に改正し、2019 年 4 月 1 日から施行する。

J P C O A R

オープンアクセスリポジトリ推進協会

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略

2019～2021 年度

2019 年 3 月 13 日

2018 年度総会決定

<現状認識－機関リポジトリを取り巻く環境の変化>

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）は、2016 年の創設以来、世界にも類をみないオープンアクセスリポジトリコミュニティとして成長を続けている。また、JPCOAR は、大学図書館界全体として活動するリポジトリの新しいコミュニティとして、機関リポジトリによる学術文献を中心としたオープンアクセスを進めることで、学術情報流通の改善を行ってきた。今後もそれが基礎であることに変わりはなく、学術雑誌論文のセルフアーカイブ、紀要論文、学位論文の公開という機関リポジトリの基本的な機能のみならず、リポジトリを通じた知の発信システムとして多様な学術成果の発信を進めていく。一方で、リポジトリを取り巻く状況は近年大きく変化している。とりわけ、世界的潮流となっているオープンサイエンスに関して、「第 5 期科学技術基本計画」では、「オープンサイエンスとは、オープンアクセスと研究データのオープン化（オープンデータ）を含む概念」とした上で、イノベーションを生み出す知の基盤としてのオープンサイエンス推進が謳われている。JPCOAR もその設立趣意書にあるように、学術成果のオープン化に寄与するため、オープンアクセスに関するこれまでの取り組みを土台として、オープンサイエンスの推進に、国内外の団体との連携を密にしながら取り組んでいくことが必要となる。

<ビジョン>

機関リポジトリをめぐる国内外の状況を踏まえ、リポジトリコミュニティとしての JPCOAR は、国内外の関係する団体、コミュニティと連携し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指す。会員機関のニーズを踏まえ、多様なコンテンツへの対応、コンテンツの価値を高めるリポジトリの機能向上に努めるとともに、研究データにも対応するリポジトリ環境の整備を行っていくことで、オープンサイエンスの推進にも寄与する。また、このめまぐるしく変化する環境に対応し、JPCOAR のコミュニティとしての機能を強化し、会員機関全体の底上げを図るとともに、新しい時代を担う中核的な人材の育成に努めていく。

<オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021>

JPCOAR はビジョン実現のため、2019 年度から 2021 年度の 3 年間ににおいては以下のオープンアクセスリポジトリ戦略をもとに活動を行う。

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。

<戦略にもとづく活動>

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。
活 動 計 画
1.1 研究データ対応を見据えた国内機関リポジトリの役割、機能要件を明らかにし、研究データを公開する基盤に関する整備を行う。
1.2 国内外の関連機関と連携し、研究データの情報流通促進及び評価に関する活動を行う。
1.3 研究データの管理・共有・公開を促進するため、研究支援に携わる職員の意識、スキルの向上を図り、会員機関における活動を支援する。
実 施 担 当
研究データ作業部会

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
活 動 計 画
2.1 コンテンツ収集の方策を検討し、リポジトリを活用した学術情報のオープン化に寄与する活動を促進する。
2.2 著作権等のポリシーに関する動向を確認し、学協会等への適切な働き掛けを行う。
2.3 多様なコンテンツの流通を支えるメタデータスキーマである JPCOAR スキーマの普及に努め、国際的な相互運用性を確保するために適切な維持管理を行う。
2.4 外部データとの連携を支える永続的識別子の活用を促進する。
2.5 コンテンツの再利用を可能とするため、著作権者等によるライセンスの付与を促進する。
2.6 国立情報学研究所と連携・協力し、JAIRO Cloud の機能改善と安定的、持続的な運営を行う。
実 施 担 当
コンテンツ流通促進作業部会

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
活 動 計 画
<p>3.1 コミュニティ活動を支援するため、会員相互の情報交換の場を提供する。</p> <p>3.2 国内外の最先端の取組、技術や知見を収集し、会員機関へ提供する。</p> <p>3.3 JAIRO Cloud コミュニティサイト等を通じた、JAIRO Cloud 利用機関へのサポートを行う。また、JAIRO Cloud 移行機関へのサポートも引き続き実施する。</p> <p>3.4 会員機関におけるコンテンツの充実のための取り組みやポリシーの策定など、各機関が主体的に実施する活動について、コミュニティとして情報共有を図る。</p> <p>3.5 会員機関が実施する優れた取り組みへの支援を行い、その成果を協会、会員機関へ還元する。</p>
実 施 担 当
コミュニティ強化・支援作業部会

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
活 動 計 画
<p>4.1 オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材に必要な標準的な技能や知識を明確にする。</p> <p>4.2 オンラインによる学習を含め、リポジトリ担当者、研究支援に携わる職員など様々な対象・レベルの研修の機会の充実を図る。</p> <p>4.3 作業部会、タスクフォース、海外派遣などの活動を通じて、オープンアクセス、オープンサイエンスを牽引する中核的人材の育成を支援する。</p>
実 施 担 当
人材育成作業部会

5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOAR のブランド力を高める。
活 動 計 画
<p>5.1 オープンアクセスの推進を図るため、会員機関の拡大を図り、人的及び財政的な活動基盤をより強固なものにしていく。</p> <p>5.2 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での協会の認知度向上に努め、海外においては特にアジアでの存在感を高める。</p> <p>5.3 リポジトリを活用したオープンアクセス及びオープンサイエンスを推進するため、関連する国内の機関や組織等と適切に連携を行っていく。</p> <p>5.4 国際的な取組みに積極的に関与するため、オープンアクセス、オープンサイエンスを推進している国際的なコミュニティやイニシアティブとの連携を進める。</p>
実 施 担 当
運営委員会

通常総会の電子的な通信並びに記録手段を用いた開催に関する細則

〔 2021年2月8日
制 定 〕

(目的)

第1条 この細則は、オープンアクセスリポジトリ推進協会会則（平成28年7月27日制定）（以下「会則」という。）第10条1項の規定に基づく通常総会を、電子的な通信並びに記録手段（以下「電子的手段」という。）を用いて開催し、会員による適正な議決権行使（会員が議案に対する賛否の意志を表明することをいう。）を確保するために必要な事項を定めることを目的とする。

(招集)

第2条 会長は、電子的手段を用い、または電子的手段と集合形式とを併用し、通常総会を招集することができる。

2 電子的手段には、オンライン会議システム、オンライン投票システム、電子メール等を含み、会長が、会員が一堂に会する通常総会と同等の十分な審議ができると判断した適切な手段によることができる。

3 会長は、本細則により通常総会を招集する場合には、次に掲げる事項を定めなければならない。

一 通常総会の開催方法

二 通常総会の開催日時

三 議案及び議案説明

四 通常総会における会員の議決権行使の期間と方法

五 通常総会に出席しない会員が、電子的手段によって事前に議決権を行使することができることとする場合は、その期間と方法

4 会長は、通常総会開催日の2週間前までに、会員に対して、前項の内容を含む通知を発し、通常総会を招集しなければならない。

(定足数)

第3条 会則第12条は、電子的手段による通常総会において準用する。この場合において、電子的手段による議決権行使も併せて出席とみなすものとする。

2 委任は、議決権の行使を事前に代理人に委ねるものであり、委任状の提出又はオンライン投票システムでの委任の意思表示と記録をもって出席に代えることができる。ただし、代理人には議長のみを指名できるものとする。

(決議)

第4条 通常総会の決議は、別段の定めがある場合を除き、第3条に規定する出席会員（以下「出席会員」という。）の議決の過半数をもって行う。

2 出席会員が、議決権行使の期間中に複数回の委任又は議決権行使を行った場合は、同期間の最終の議決権の行使をもって確定とする。

3 会長は、通常総会終了後、速やかに会員に決議を通知しなければならない。

4 前項にかかわらず、会長は、計数等議決に時間を要すると判断した場合は、後日、会員に決議を通知することができる。

(議決権行使期間の延長)

第5条 定足数に満たないことにより通常総会が成立しなかった場合は、それまでの議決権行使を有効とし、会長は、委任又は議決権の行使を行わなかった会員に対して、期間を定めて、委任又は議決権行使の記録の提出を促すことができ、その提出結果を、定足数及び第4条の議決に加えるものとする。ただし、延長は1回とし、最大10日とする。

2 会長は、前項期間終了後、議決を行い、会員に決議を通知する。

附 則

この細則は、2021年2月8日から施行する。

JAIRO Cloudを共同リポジトリとして利用する場合の会費等に関する細則

〔 2021年2月8日
制 定 〕

(目的)

第1条 この細則は、オープンアクセスリポジトリ推進協会会則（平成28年7月27日制定）（以下「会則」という。）第16条の規定に基づき、オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程（平成28年7月27日制定、2021年4月1日施行）（以下「会費規程」という。）に定めるもののほか、会員がJAIRO Cloudサービスを共同リポジトリとして利用する場合の会費等について必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 本細則における用語の定義は、会則及び会費規程に定義するもののほか、次のとおりとする。

- 一 共同リポジトリとは、複数の会員が共同してJAIRO Cloud環境を構築し、リポジトリを運用するものをいう。
- 二 構成会員とは、同一の共同リポジトリを構築・運用する会員をいう。

(JAIRO Cloudの利用申請)

第3条 共同リポジトリ構築のためのJAIRO Cloudの利用申請にあたっては、構成会員のうち一つを代表として申請する。

(基本会費)

第4条 構成会員の基本会費は、会費規程第4条の規定により構成会員ごとに請求する。ただし、会則第5条三号に定める部局等（以下「部局等」という。）の基本会費は、当該の部局等の構成員数に基づく区分を適用する。

(JAIRO Cloud利用料金等)

第5条 JAIRO Cloud利用料金及び特別料金を請求する。会費規程第5条及び第6条の規定により構成会員ごとに請求する。ただし、部局等のJAIRO Cloud利用料金は、当該の部局等の構成員数に基づく区分を適用する。

(JPCOAR会費納入)

第6条 基本会費及びJAIRO Cloud利用料金は、構成会員ごとに納入するものとする。

附 則

- 1 この細則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 当分の間は、コンテンツ及びメタデータの登録等を行う共同リポジトリ等をJAIRO

Cloud利用料金及び特別料金の対象とし、メタデータのみ登録等を行う場合は対象としない。ただし、メタデータのみ登録等を行う場合については、特別JCサービス及び複数のJAIRO Cloud利用申請は認めない。